



上山小学校「風のたより」

令和5年10月19日(木) 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



「思い出」は永遠に続く！

その少年は、中学2年生のお年玉でアコースティックギターを購入しました。当時市内にあった「エース楽器店」には、アコギの専門職人さんがいらっしやっただので目星をつけていたのです。少年は、流行りの曲を弾き語りしたいとの思いでギターを購入したのですが、ほとんどの少年は、女子にもてたいとの思いでギターをつま弾いていました。その少年がギターを購入した頃には、「アリス」という3人組のフォークグループがあり、意味は半分しかわかりませんでした。 「悩み続けた日々が、まるで嘘のように～(^ ^ ♪)」とかすれた音色のギターで弾き語りをしていたものでした。そうです。先日亡くなられた谷村新司さんが所属していたグループの歌です。元少年は大切な思い出が一つ消えたようで寂しがっていますが、大切な思い出は永遠です。上山小の子どもたちにも永遠に続く思い出をたくさん作ってほしいです。



あしたは はなを

坂田おさむ

悲しくて 泣きたくなった時
思い出してほこ

ぼくらの日々を

雲に乗り 飛んでゆくからね
ひとりぽっちじゃないよ
手をつなごうよ

好きだから 君が好きだから
友達さ いつもいつまでも

さあさ 夢じゃない

みどりの草原に

みんなが集まるよ

君と歌うよ



宿泊学習行ってまいりました！

先日の6年生に続き、17日から1泊2日で5年生が宿泊体験学習に行ってきました。場所は、皆さんも一度は行ったことのある諫早青少年自然の家です。これまた、子どもたちと学年主任の日頃の行いのよさが呼び寄せた好天でした。感謝です！



体験学習で仕掛けたいことは、大人が次々に指示をしないことだと思います。指示を聞いて動くことは、小さな子供でもできます。次年度リーダーとして活躍する5年生に対して私は、「友達のことを考える」「自分の行動を決める」「考えて行動する」ことを目標に主体的な参加を期待していました。まだそのような成果があがったのかはこれから検証していくところですが、引率職員の話聞く限りでは、意義ある宿泊体験学習になったようです。もうこれからはサブリーダーとは呼ばないことにしたいと思います。真のリーダーとしての歩みを始めてもらいたいと願っています。

学校への協力をよろしくお願いします！

最近いつも頭の中にあることなのですが・・・、自分自身の非力さを強く感じます。人間の慢心ほど人を不愉快にするものはありません。自分がそうになっていないか、いつも振り返っているつもりですが、陥りやすいところだと思います。子どもの視線、保護者の視線を常にもっておきたいものです。



5年生の家庭科の授業で「裁縫」がありました。針や糸を使ったり、ミシンを使ったりします。アイロンを使う場面もあるなど、多少危険を伴う授業では、担任ひとりの指導では目が届かないことがあります。5年担任はご家庭にHELPを要請し、子どもたちの指導の支援をお願いしました。中にはおばあちゃんの姿も見られました。これからの学校教育の姿を垣間見たように思います。学校と家庭と地域が手に手を取り合って、子どもの教育に当たる必要性を強く感じました。上山小学校では「よってたかって教育」を進めていきたいなと思っています。ご協力願います。(*^*)

☆上山小のHP「スミシだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。